

車両接近時の鹿の行動と音による行動制御の可能性

志村稔 潮木知良 京谷隆 中井一馬 早川敏雄

近年、走行中の鉄道車両と鹿が衝撃する事例が全国で増えており、無視できない問題となっています。鹿が鉄道車両と衝撃する理由を知るために線路近傍における鹿の行動を調査しました。その結果、車両に追われるように線路内を逃走する、立ちすくむように停止してしまう、列車の直前を横断しようとする、の3種類の行動をとった場合に衝撃につながりやすい事が確認されました。したがって、これらの行動を抑止することで衝撃防止効果が得られると考えられます。その方策の一つとして、

鹿と自動車の交通事故防止のための研究が行われている鹿警戒声に着目し、鉄道に適用することを検討しました。飼育されている鹿および野生の鹿を用いて警戒声に対する反応を調査した結果、吹鳴直後に一度静止して音源方向を警戒する注目行動をとることを確認しました。警戒声を吹鳴することで、車両に対して警戒心を持たせ、鹿の危険な行動を抑止することが期待されます。



図 衝撃事故に至りやすい3種類の鹿の行動